



# ***Presto! PageManager*** **9** ***(Macintosh)***

ユーザーガイド

S/N: 207900-02-01-M-J-031710-07

## 著作権について

© 2009–2010, NewSoft Technology Corp. All Rights Reserved.

本書の内容の全部または一部を、NewSoft社の許諾なく、無断で転載あるいは複製することは、法令に特別の定めのあるほかは、固く禁じられています。

本書の内容は、改良のため、将来予告なく変更することがあります。

本製品を使用したことによるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、NewSoft社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

本製品をご使用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾条項」にご同意いただくことが必要です。パッケージを開封された際に、同条項へのご同意があったものとさせていただきますので、ご了承下さい。

## 商標について

IBM、PCおよびVGAは、International Business Machines Corporationの登録商標です。

Apple および Macintosh は、Apple Inc.の登録商標です。

PDF は、Adobe System Inc. の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名については、各社の商標および登録商標です。

[www.newsoftinc.com](http://www.newsoftinc.com)

[www.newsoft.com.tw](http://www.newsoft.com.tw)

[www.newsoft.co.jp](http://www.newsoft.co.jp)

[www.newsoft.eu.com](http://www.newsoft.eu.com)

[www.newsoft.com.cn](http://www.newsoft.com.cn)

# 目次

<b>第 1 章</b>	<b>PageManagerのご紹介</b>	<b>1</b>
	<b>特長</b> .....	<b>1</b>
	<b>必要動作環境</b> .....	<b>3</b>
	<b>インストール</b> .....	<b>4</b>
	<b>ライセンスマネージャ</b> .....	<b>4</b>
<b>第 2 章</b>	<b>PageManagerの操作</b>	<b>5</b>
	<b>PageManagerメインスクリーン各部の名称</b> .....	<b>5</b>
	表示モードの切り替え .....	7
	サムネイルビュー .....	8
	リストビュー .....	8
	コマンドツールバーを使ってコマンドを選択 .....	8
	コマンドツールバーの設定変更 .....	10
	ドキュメントパレットを使ってドキュメントを一括処理 .....	11
	フォルダを使ってファイルを管理 .....	12
	<b>PageManagerにファイルを取り込む</b> .....	<b>13</b>
	スキャンの環境設定 .....	13
	イメージをスキャナから取り込む .....	15
	フォトをデジタルカメラから読み込む .....	15
	ファイルをデジタルストレージデバイスから取り込む .....	16
	<b>Presto! Scan Buttonsを使用する</b> .....	<b>16</b>
	Presto! Scan Buttonsでクイックスタート .....	16
	ジョブにあわせてPresto! Scan Buttonsを選ぶ .....	17
	Presto! Scan Buttons環境設定 .....	18
	<b>PageManagerでファイルの管理</b> .....	<b>20</b>
	並べ替え .....	20
	整理 .....	20
	新規フォルダを作成 .....	20
	ファイルを移動 .....	20
	ファイルを複製 .....	21

ファイルを削除.....	21
名前の変更.....	21
ファイルを別の名前で保存.....	21
複数ファイルを一括してファイル名を変更.....	21
スタック・スタック解除.....	22
PageManagerでファイルを保存.....	23
ファイル、フォルダのプロパティを指定.....	24
<b>マルチメディアファイルを再生.....</b>	<b>25</b>
<b>Webarchive ファイルを開く.....</b>	<b>25</b>
<b>PageManagerでイメージをテキストに変換(OCR).....</b>	<b>25</b>
<b>PageManagerでファイルの検索.....</b>	<b>26</b>
<b>ファイルの印刷およびFax.....</b>	<b>26</b>
印刷およびFaxの設定.....	26
印刷.....	27
Fax.....	27
PrintFun (プリントファン)を使用する.....	27
<b>受信したFAXまたはEメールをフォルダへ送信.....</b>	<b>29</b>
<b>ファイルのバックアップ.....</b>	<b>30</b>
<b>メニューコマンド.....</b>	<b>31</b>
Presto! PageManager SE 9 メニュー.....	31
ファイルメニュー.....	32
編集メニュー.....	33
表示メニュー.....	33
ツールメニュー.....	34
ヘルプメニュー.....	35
Scan Buttons メニュー.....	35
ショートカットメニュー (ツールバー).....	36
ショートカットメニュー (サムネイル).....	37
ショートカットメニュー (ドキュメントパレット).....	39

### **第 3 章 PageViewerの操作**

**40**

<b>PageViewerメインスクリーン各部の名称.....</b>	<b>40</b>
-------------------------------------	-----------

<b>PageViewerでファイルにアノテーションをつける</b> .....	<b>42</b>
<b>PageViewerでイメージをテキストに変換(OCR)</b> .....	<b>42</b>
<b>PageViewerでファイルを保存</b> .....	<b>43</b>
ドキュメントファイルを保存.....	43
イメージファイルを保存.....	45
<b>PageViewerでファイルを検索</b> .....	<b>46</b>
コンピュータ内のファイルを検索.....	46
Googleを使いファイルを検索.....	46
<b>ファイルの印刷とFax</b> .....	<b>46</b>
印刷およびFaxの設定.....	46
印刷.....	47
Fax.....	47
<b>ファイルの種類別メニューおよびコマンド</b> .....	<b>48</b>
PageViewer 共通メニュー.....	48
Presto! PageViewer メニュー.....	48
ファイルメニュー.....	49
編集メニュー.....	49
表示モードメニュー.....	50
ヘルプメニュー.....	50
PageViewer ドキュメントファイル.....	51
PageViewer コマンドツールバー (ドキュメント).....	51
ツールメニュー.....	51
フォーマットメニュー.....	51
PageViewer PDFファイル.....	52
PageViewer コマンドツールバー (PDF).....	52
ツールバー (PDF).....	53
アノテーションツールバー (PDF).....	53
ツールメニュー (PDF).....	54
アノテーションメニュー (PDF).....	55
PDF ショートカットメニュー.....	56
PageViewer イメージファイル.....	57
PageViewer コマンドツールバー (イメージ).....	57
ツールバー (イメージ).....	58

アノテーションツールバー (イメージ) .....	59
ツールメニュー (イメージ) .....	61
アノテーションメニュー (イメージ) .....	62
PageViewer OCR ビュー.....	63
PageViewer コマンドツールバー (OCR処理後のドキュメント) .....	63
OCR フォーマットメニュー .....	63
OCR ツールメニュー .....	64
ページリストショートカットメニュー .....	64

## 第 1 章 PageManagerのご紹介

Persto! Pagemanager 9 はオフィスまたはパーソナルのニーズに応えるパワフルな書類管理ソフトです。より新しくなった管理ツールを使い、イメージや書類のスキャン、整理、管理がより早く、より簡単になりました。

PageManager は 3 つの主要な部分から構成されています。：ファイルの取り込み、参照、認識、エクスポートなどをおこなう PageManager メインスクリーン；ファイルの検証、編集、修正、アノテーションを付加などをおこなう PageViewer。そして、ファイルの取り込みから指定先のジョブへの送りだしがワンステップでできる、ScanButtons。この章では、これらの PageManager の特長をご紹介します。

新しくなった機能、動作環境、スタートアップの手順を以下にご紹介します。

- [特長](#)
- [必要動作環境](#)
- [インストール](#)
- [ライセンスマネージャ](#)

### 特長

- **サムネイル、リスト：** 目的に合わせて表示タイプを使い、ファイルの参照、整理、検索が簡単に行えます。



- **ドキュメントパレット：** 別々の場所にあるファイルを 1 つの仮想フォルダへドラッグしてまとめ、一括して PDF に変換したり、フォルダまたは E-mail へ送ります。
- **フィルタ：** 表示エリアに表示するファイルを、タイプ別に選択できます
- **Scan Buttons:** メニューバーから直接起動し、PageManager を開くことなく、ファイルをスキャンして指定のアプリケーションは場所へ送ったり、または保存する作業をワンステップで行います。

- **フォルダ:** Mac の Finder の要領でファイルの管理を容易におこなえます。
- **クイックリンク:** フォルダウィンドウからフォルダをドラッグし、お気に入りのグループのショートカットを作成します。
- **ドキュメント、イメージ、オーディオ、ビデオビューア:** PageManager内で他のアプリケーションを開くことなく、様々なファイルを見ることができます。サポートされているファイル形式は、[付録 対応ファイル形式](#)をご参照ください。
- **スタック、スタック解除:** 関連したファイルの形式が異なる場合や、一度に1ページずつしかスキャンできないスキャナを使用した場合、サムネイルを重ね合わせ、ファイルをグループ化して、管理を容易にします。
- **OCR:** イメージファイル内のテキストを OCR 処理し、変更可能なテキスト形式に変換します。
- **検索:** ファイル名やファイルの拡張子などを使い、ファイルの検索を簡単に効率的におこないます。
- **注釈ツール:** ファイルにテキスト入力、スタンプ、ハイライト、直線、曲線、付箋の追加などの注釈を付けることができます。
- **イメージ編集ツール:** 切抜き、回転、反転、色の反転、明るさとコントラストの調整などのイメージ編集ツールを使い、イメージの編集を行います。

## 必要動作環境

項目	必要条件	
オペレーティングシステム	Mac OS X 10.4 またはそれ以降	
PowerPC CPU およびメモリ	必須	推奨
	PowerPC 1 GHz 512 MB RAM	PowerPC 1.8 GHz 1 GB RAM または それ以上
Intel CPU およびメモリ	Intel 1.83 GHz Core Duo 512 MB RAM	Intel 2 GHz Core 2 Duo 1 GB RAM または それ以上
モニター	SVGA (1024 x 768) またはそれ以上 1280 x 960 またはそれ以上を推奨	
CD ROM ドライブ	1 個	
権限	インストール、プログラムの実行ともに 管理者権限が必要	
インストールに必要なハード ディスクの空き容量	200 MB	
プログラムの実行に必要なハ ードディスクの空き容量	250 MB	
その他	Safari, QuickTime 6.0 またはそれ以降	

## インストール

1. CD-ROMまたはDVD-ROMドライブにPageManager インストール用 CD を挿入します。

 PageManager プログラムがマスターCDの一部となっている場合、以下ステップ2をスキップしてください。PageManagerのインストールはマスタープログラムの一部としておこなわれます。

2. インストールディスク内のPresto! PageManager インストールプログラムをクリックします。
3. 画面の指示にしたがって、インストールを完了してください。

 [古いデータをインポート] 機能は、以前のバージョンのPageManagerからメモや積み重ねたファイルなどのデータを取り出します。ただし、OCR処理したファイルを別の形式で保存していない場合は、再度OCRを実行する必要があります。

## ライセンスマネージャ

PageManager 起動時に、ローカルエリアネットワーク内で現在使用されているシリアル番号の検索がおこなわれます。入力したシリアル番号に対するローカルネットワーク内の使用者数が上限を越える場合は、別のシリアル番号を入力する必要があります。あるいは、使用者数が制限数以下になってからプログラムを使用してください。

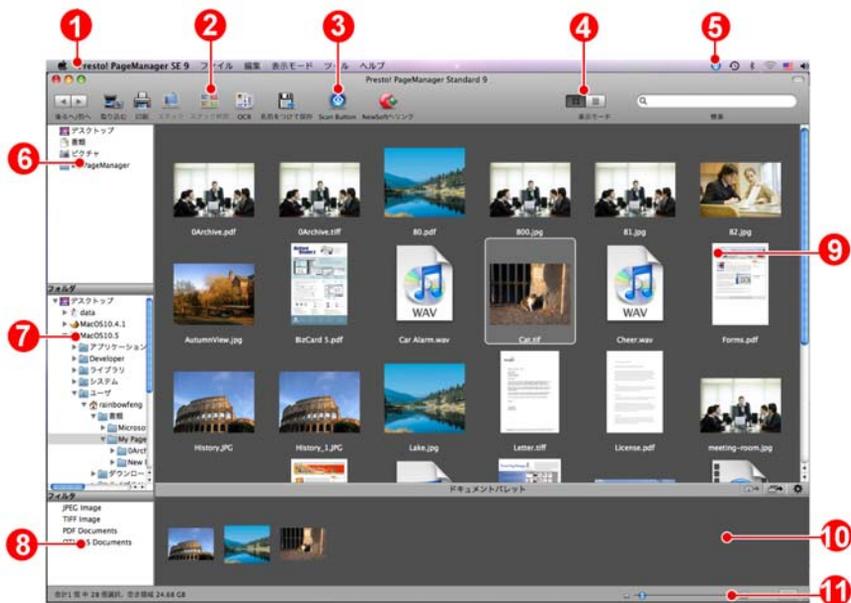
 この機能は制限があるかまたはご使用不可の場合があります。

## 第2章 PageManagerの操作

PageManagerではファイルの取り込みから表示、編集、整理、保存、エクスポートに至るまで、さまざまな操作を行うことができます。各オプションの詳細は、次の各トピックをご参照ください。

### PageManager メインスクリーン各部の名称

PageManagerの初期画面の各部の名称と働きをご紹介します。表示スタイルは、**表示メニュー**からカスタマイズすることができます。各部分の詳細は、以下をご参照ください。



1	メニューバー	メニューバーにはプログラムの機能を実行するためのコマンドがあります。
2	コマンドツールバー	コマンドツールバーにはよく使用されるコマンドがアイコンで表示されています。

<p><b>3</b></p>	<p><b>Presto! Scan Buttons</b></p>	<p>Presto! Scan Buttons はスキャンと送信をワンステップでおこなう便利な機能です。このボタンをクリックすると、PageManager はデータをスキャンして、指定した場所、またはプログラムに送信します。</p>
<p><b>4</b></p>	<p><b>表示モード</b></p>	<p>PageManager は用途に応じて 2 種類の異なる表示モードを選択することができます； をクリックしてサムネイル表示、 をクリックしてリスト表示に切り替えます。</p>
<p><b>5</b></p>	<p><b>Presto! Scan Buttons (Macintosh メニューバー)</b></p>	<p>メニューバーからアイコンをクリックし、PageManager を開くことなく、ファイルをスキャンして開く、または保存する作業をワンステップで行います。</p> <p>メニューバーに ScanButton アイコンが表示されていない場合、PageManager を開き、 ツールバー上の  をクリックすると、メニューバー上に表示されます。</p>
<p><b>6</b></p>	<p><b>クイックリンク</b></p>	<p>使用頻度の高いフォルダをクイックリンクにドラッグし、必要に応じてすばやくアクセスできるようにしておきます。お気に入り内のフォルダはショートカットのみで、実際の場所は元の位置のままです。お気に入りのショートカットの上でマウスを右クリックすると、フォルダを開いたり、名前を変更したり、またはクイックリンクから削除したりできます。</p>
<p><b>7</b></p>	<p><b>フォルダ</b></p>	<p>フォルダウィンドウには Macintosh の Finder と同じようなフォルダ構造が表示されます。フォルダをクリックすると、そのフォルダに保管されているファイルが、表示エリアに表示されます。フォルダバーをダブルクリックし、フォルダウィンドウの表示、非表示を切り替えます。</p>

8	フィルタ	<p>表示するファイルタイプを次から選択し、その他のファイルを表示エリアから隠します。：JPEG, PNG, BMP, GIF, TIFF, PDF, RTF, HTML, XML, その他</p> <p>フォルダ内のファイルが多数ある場合、表示するファイルを選ぶことにより、作業に使うファイルを絞り込めます。フィルタバーをダブルクリックし、フィルタウィンドウの表示、非表示を切り替えます。</p>
9	表示エリア	<p>このエリアには選択した表示モードでファイルが表示されます。ファイル情報を表示するには、表示エリアに表示されているファイルの上でマウスを右クリックし、ショートカットメニューからプロパティを選択します。</p>
10	ドキュメントパレット	<p>別々のフォルダからイメージをここにドラッグし、一括して PDF に変換したり、指定したフォルダに移動したり、Eメールで送信したりできます。</p>
11	拡張バー	<p>表示エリアに表示されているファイル数やディスクの空きスペースなどの情報が表示されます。スライダーをドラッグするとサムネイルの表示が拡大、縮小されます。ドキュメントパレットが非表示の場合、 をクリックすると、表示になります。既に表示されている場合、 をクリックすると、非表示になり画面から隠れます。</p>

## 表示モードの切り替え

コマンドツールバー上でアイコンをクリックして表示モードの切り替えをおこないます。 をクリックしてサムネイル、 をクリックしリストビューに切り替えます。各ビューの詳細は、以下をご参照ください。

## サムネイルビュー

PageManager を起動すると、初期画面はサムネイルビューで開きます。各サムネイルはファイルを表しています。

ステータスバーのスライダをドラッグして、サムネイルのサイズを拡大、縮小します。

表示メニューから**並べ順序**を選び、項目を選んで並び順を変更します。

オーディオまたはビデオファイルは、サムネイルの上に  が表示されません。クリックして再生をおこなえます。

スタックファイルはサムネイルの上に   が表示されます。クリックして、上下のファイルに移動しますが表示されません。クリックして、上下のファイルに移動します。

ファイル内に複数ページがある場合、サムネイルの上に   が表示されます。クリックして前後のページに移動します。

オーディオファイルがある場合は、スピーカーアイコンが表示されます。これをダブルクリックすると、オーディオが再生されます。

 この機能は、お使いの OEM 版によっては機能に制限があるかまたはご使用不可の場合があります。

## リストビュー

リストビューでは、サムネイルと、ファイル情報がリスト表示されます。表示されるファイル情報：ファイル名、種類、サイズ、変更日など

## コマンドツールバーを使ってコマンドを選択

コマンドツールバーにはよく使用されるコマンドがアイコンで表示されています。メニューリストからコマンドを選択して起動する代わりに、ここから直接起動できます。

右上の  をクリックし、コマンドツールバーの表示、非表示を切り替えます。左上の    ボタンは、それぞれプログラムの終了、プログラム画面をサムネイルに縮小してドックに表示、プログラム画面を最大化表示、などを行います。

初期設定で表示されるアイコンを次にご紹介します。表示するアイコンの変更は、[コマンドツールバーの設定変更](#)をご参照ください。

	<b>戻る/進む</b>	以前に開いたフォルダへジャンプします。このアイコンは、フォルダを移動すると有効になります。
	<b>イメージデータを取り込む</b>	TWAIN またはプラグイン対応のデバイスからイメージを取り込みます。
	<b>印刷</b>	選択したファイルの印刷を行います。
	<b>スタック</b>	ファイルを別のファイルにドラッグして積み重ねます。
	<b>スタック解除</b>	スタックを解除し、個々のファイルをサムネイル表示します。
	<b>OCR</b>	選択したファイルに OCR 処理を行います。
	<b>名前をつけて保存</b>	選択したファイルを別の名前で保存します。
	<b>Presto! Scan Buttons</b>	メニューバーに Presto! Scan Buttons を表示します。

	<b>NewSoft Website</b> へリンク	NewSoft 社の Website へリンクし製品情報を確認いただけます。
	<b>表示モードを切替え</b>	表示モードをサムネイル、リストに切り替えます。
	<b>ファイル検索</b>	表示エリア内のファイルの検索を行います。ファイル名、または拡張子を入力すると、検索結果で表示エリアが更新されます。検索ボックスの内容をクリアして Enter キーを押すと、表示エリアの内容が検索前の状態に戻ります。
	<b>結合 PDF</b>	複数のファイルを一個の PDF に合成します。

## コマンドツールバーの設定変更

ツールバーに表示されているアイコンの種類や表示方法を変更する方法を次にご紹介します。

1. ツールバーの上でマウスを右クリックし、リストからオプションを選択します。
2. 詳細設定を行う場合、**ツールバーをカスタマイズ...**をクリックしてパネルをひらきます。マウスを右クリックす代わりに、表示メニューから**ツールバーをカスタマイズ...**を選択することもできます。
3. ダイアログボックスで、アイコンをドラッグしてツールバーに追加またはツールバーからドラッグして、削除を行います。**小さなサイズを使用**をクリックすると、アイコンサイズが小さくなります。
4. 設定が完了したら、**完了**をクリックしてダイアログボックスを終了します。

## ドキュメントパレットを使ってドキュメントを一括処理

ドキュメントパレットは仮想フォルダの役目を果たします。別々のフォルダからファイルをドキュメントパレットにドラッグし、一括して PDF に変換したり、指定した場所またはプログラムへ送ったり、Eメールで送信したりします。

ドキュメントパレットが画面に表示されていない場合、ステータスバーから  をクリックして表示します。非表示にする場合は、 をクリックします。

 をクリックしてダイアログボックスを開き、ドキュメントパレットの設定を次の要領で行います。

- **書類をフォルダへ送信:** 参照...をクリックし、送り先のフォルダを指定します。
- **書類を E-mail で送信:** リストから E-mail プログラムを選択します。ドキュメントパレットで選択されたファイルは、ここで選択された E-mail プログラムで送信されます。
- **ドキュメントを PDF に変換する:** このオプションを有効にすると、ドキュメントは、送信される前に PDF に変換されます。

ドキュメントパレット内の全てのファイルを一度に送信する場合、 をクリックすると、すべてのファイルは、設定された場所、またはプログラムに送信されます。ドキュメントパレット内で選択したファイルを送信する場合、 をクリックするか、またはファイルの上でマウスを右クリックして**送信**を選択します。ドキュメントパレット内で選択されたファイルは、設定された場所、またはプログラムに送信されます。

-  ドキュメントパレット内のファイルは、一時的な作業ファイルです。ファイル送信後、または Presto! PageManager を終了すると、ドキュメントパレット内から削除されます。

## フォルダを使ってファイルを管理

フォルダウィンドウでフォルダをクリックすると、フォルダ内のファイルが、表示エリアにサムネイルで表示されます。選んだフォルダの上でマウスを右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。メニューから**プロパティ**を選ぶとフォルダ情報が表示されます。**フォルダバー**をダブルクリックし、フォルダウィンドウの表示、非表示を切り替えます。

ツールバーで  をクリックすると、以前に開いたフォルダにジャンプします。

-  PageManager インストール時に My PageManager フォルダが以下の場所に作成されます。Documents/My PageManager。このフォルダには練習用のサンプルファイルが保管されています。

## PageManager にファイルを取り込む

PageManagerはTWAINまたはプラグイン対応のデバイスに対応しています。スキャンボタンは、ファイルの取り込みからターゲットのプログラムへの送り出しまで、ワンステップでおこなえます。ファイルを取り込むための設定および方法を、以下にご説明します。

### スキャンの環境設定

スキャン設定では、スキャンのタイプをTWAIN ユーザーインターフェースまたはクイックスキャンから選択し、スキャンしたイメージのファイルタイプや保管場所の設定など、スキャンに関する設定を行います。

1. **ファイルメニューからスキャンの設定**をクリックします。
2. ダイアログボックスで**名前**：をにファイル名のはじめに共通して使用する名前を入力し、**開始番号**：にファイルに通して付ける番号を入力、**保存形式**でファイルの保存形式を選択します。これらの設定は、連続してイメージをスキャンする場合などの一括処理に適用されます。保存形式でJPEGを選択すると、画質調整のスライダが表示されます。スライダをドラッグして画質の調整をおこないます。
3. ダイアログボックスでスキャンのタイプを次のいずれかから選択します。
  - **TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする** オプションを選択解除すると、スキャナのTWAINインターフェースがスキャン中に表示されません。この選択では、以下のオプションが設定可能になります。
    - A) **ノイズ消去**：新聞雑誌、その他の印刷物のイメージからノイズを消去し、イメージをよりクリアにします。
    - B) **イメージの歪み補正**：斜めになっているイメージの補正を行います。
    - C) **自動裁断**：スキャンされた書類の裁断を行います。書類の種類によって **BizCard**,または**写真**のいずれかを選択してください。

- D) スキャンしたイメージの送り先：スキャンしたイメージの保存先を **My PageManager** または**アクティブフォルダ**から選択します。
- **TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする** オプションを選択すると、スキャン中はスキャンインターフェースが表示されません。同じ種類のページをいくつもスキャンする場合は、このオプションを選択すると毎回設定を行う手間を省くことができます。このオプションを選択した場合は、上記 A～D 以外に次のようなオプションが設定可能になります。
- E) **ドキュメントの種類** を選択し、種類にあった**スキャンモード**、**スキャンサイズ**、**解像度**を設定します。
- F) **ドキュメントフィーダ(ADF)を有効にする**：この機能はドキュメントフィーダが付いているスキャナでしか使用できません。フィーダに用紙がセットされていると、自動的に給紙され、スキャンされます。それ以外の場合は、フラットベッドスキャンが実行されます。
- G) **両面スキャンを有効にする**：用紙の両面のスキャンが有効になります。ページの表と裏が同じ方向で印刷する際は、**表裏両面のイメージ方向を同じにする**を選択します。
- H) **明るさ** ：スライダをドラッグして明度レベルを調整します。
- I) **コントラスト** ：スライダをドラッグして明るいエリア暗いエリアの差を調整します。
- J) **しきい値** ：黒に置きかえる密度と白に置きかえる密度を指定します。このオプションは白黒モードでしか使用できません。しきい値を低くすると、イメージは明るくなります。逆にしきい値を高くすると、イメージは暗くなります。
4. **OK** をクリックしてダイアログボックスを終了します。

## イメージをスキャナから取り込む

スキャナからイメージを取り込む方法を以下にご説明します。スキャンを行う前に、スキャナドライバがインストールされていることを確認し、スキャナがオンになっていること、またコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。詳しくは、スキャナの説明書をお読みください。

1. ファイルメニューから**取り込みデバイスを選択**を選択します。
2. ダイアログボックスでスキャナを選択し、**選択**をクリックします
3. スキャナに素材をセットします。



4. コマンドツールバーから  をクリックします。
5. スキャンが実行され、スキャンしたイメージは **スキャンの設定** のダイアログボックスで指定した場所に保存されます。詳しくは、[スキャンの環境設定](#)をご参照ください。

## フォトをデジタルカメラから読み込む

TWAIN またはプラグイン対応のデジタルカメラからフォトを読み込む方法を以下にご説明します。PageManager を起動する前に、ドライバがインストールされていることを確認し、デジタルカメラがオンになっているか、またコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。

1. ファイルメニューから**取り込みデバイスを選択**を選択します。
2. ダイアログボックスでデジタルカメラを選択し、**選択**をクリックします。



3. コマンドツールバーから  をクリックします。
4. デジカメの取扱説明書を参照し、イメージのダウンロードをおこないません。
5. 取り込まれたイメージは初期設定でアクティブフォルダへ保存されます。詳しくは、[スキャンの環境設定](#)をご参照ください。

## ファイルをデジタルストレージデバイスから取り込む

デジタルカメラや USB メモリカードリーダーなどのデジタルストレージデバイスからファイルを取り込むことができます。これらのデバイスはリムーバブルディスクとして、コンピュータに接続することができます。詳しくは、デバイスの説明書をお読みください。

PageManager を起動する前に、ドライバがインストールされていることを確認し、デジタルカメラがオンになっていること、またコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。

1. デジタルストレージデバイスとコンピュータを接続します。
2. フォルダウィンドウからデバイスを選択します。選択されたデバイス内のイメージが表示エリアに表示されます。
3. イメージをフォルダウィンドウの任意のフォルダにドラッグします。

## Presto! Scan Buttons を使用する

Presto! Scan Buttons はファイルのコピー、スキャン、開く、保存など複数の作業をワンステップでおこないます。Macintosh のメニューバー直接起動できるため、PageManager を開かずに直接起動することもできます。このオプションを使用する場合、あらかじめスキャナとコンピュータの接続を確認してください。

## Presto! Scan Buttons でクイックスタート

1. メニューバーから  をクリックし、**Scan Buttons** メニューを表示します。
2. スキャナに原稿をセットします。
3. スキャン後の処理にあわせてスキャンボタンを選択します。

設定の変更をおこなうには、メニューから取り込みデバイスを選択、または Presto! Scan Buttons の環境設定を開くを選択します。

また、ScanButtons メニューで**終了**をクリックすると、メニューバーから ScanButtons が隠れ、非表示になります。

## ジョブにあわせて Presto! Scan Buttons を選ぶ

Presto! Scan Buttons は初期設定で 6 種類のジョブが設定されています。

メニューバーから  をクリックしてタリストを表示し、ジョブの選択をおこないます。各タスクの詳細は、以下をご参照ください。

 メニューバーに  が表示されていない場合、PageManager のコマンドツールバーから  をクリックして、メニューバーに ScanButtons を表示します。

スキャンボタン名	内容
PageManager ヘスキャン	イメージをスキャンし、PageManager で開きます。
フォルダヘスキャン	イメージをスキャンし、Presto! Scan Buttons の環境設定で指定されたフォルダに保存します。
Mail ヘスキャン	イメージをスキャンし、Presto! Scan Buttons の環境設定で指定された E-mail プログラムを起動して、スキャンされたイメージを添付します。
コピーしてプリント	イメージをスキャンし、Presto! Scan Buttons の環境設定で指定されたプリンタへ送ります。
OCR ヘスキャン	イメージをスキャンし、Presto! Scan Buttons の環境設定で指定されたオプションを適用し、OCR 処理を行います。
PDF ヘスキャン	イメージをスキャンし、Presto! Scan Buttons の環境設定で指定された PDF オプションを適用し、PDF ファイルに変換します。

## Presto! Scan Buttons 環境設定

Presto! Scan Buttons の内容は、使用目的に Presto! Scan Buttons 環境設定よりカスタマイズすることができます。以下の手順をご参照ください。ダイアログボックスでは、**スキャン設定**と**ファイルの保存設定**の2つのタブが表示され、各タブで該当の設定をおこないます。詳細は、以下をご参照ください。

1. メニューバーから  をクリックします。  
 メニューバーにアイコンが表示されていない場合、  
PageManager のコマンドツールバーから  をクリックして、メニューバーに ScanButtons を表示します。
2. **取り込みデバイスを選択...**をクリックしてデバイスを選択し、**Presto! Scan Buttons の環境設定...**をクリックします。
3. 左側のリストから目的に合わせて Scan Button を選択します。
4. **スキャン設定タブ**でドキュメントの種類：、スキャンモード：、スキャンサイズ：、解像度、自動裁断：、などのオプションをリストから選んで設定します。各オプションの詳細は、[スキャンの環境設定](#)をご参照ください。
5. **システム起動時に Presto! Scan Buttons を開始する**をチェックして有効にすると、システム起動時に Presto! Scan Buttons がメニューバーに表示されます。
6. **スキャンのプロファイルを保存する**をクリックして変更を保存すると、次回から変更された設定が適用されます。また、前に使用したのと同じようなスキャンの設定をおこなう場合、**スキャンのプロファイルをロードする**をクリックして前に保存した設定をよびだし、変更を加えると、時間と手間が省けます。
7. **ファイルの保存設定タブ**をクリックし、ファイルの保存オプションを設定します。ここでの設定オプションは、選択された ScanButtons の種類によって異なります。

### a) すべての ScanButtons に共通の設定

- **名前：と頭文字：**の欄でファイルの頭文字と連番を設定し、**フォルダパス：**の欄でファイルの保存場所を選択します。
- **ファイル形式：**で保存後のファイル形式を選びます。選択したファイルの形式により、詳細オプションが表示されます。（JPEG を選んだ場合の画質の設定バー）

### b) PageManager ヘスキャン

- この ScanButtons では、**ファイルを開くアプリケーション**オプションが表示されます。参照ボタンをクリックし、ファイルを開くのに使用するアプリケーションを選択します。

### c) フォルダヘスキャン

- この ScanButtons には、上記共通の設定以外の特別な設定はありません。

### d) Email ヘスキャン

- **メールシステム：**で使用する E-Mail のアプリケーションを選択します。

### e) コピーしてプリント

- **ページ設定**をクリックし、印刷の設定をおこないます。この ScanButtons には、上記の共通設定はありません。

### f) OCR ヘスキャン

- **ファイルを開くアプリケーション**オプションが表示されます。参照ボタンをクリックし、ファイルを開くのに使用するアプリケーションを選択します。
- **OCR 言語：**で OCR 処理に使用する言語を選択します。

### g) PDF ヘスキャン

- **ファイルを開くアプリケーション**オプションが表示されます。参照ボタンをクリックし、ファイルを開くのに使用するアプリケーションを選択します。
- **ドキュメントを保存：、ドキュメントサイズ：、OCRオプション：、OCR言語**などPDFの設定をします。**PageManager**で**ファイル**を**保存**の章の、[PDF設定オプション](#)をご参照ください。

8. **OK** をクリックして設定を保存しダイアログボックスを終了、**適用** をクリックして設定を保存、または**キャンセル**をクリックして変更を破棄し、ダイアログボックスを終了します。

## PageManager でファイルの管理

様々なデバイスから取りこんだファイルを PageManager で管理する方法を以下にご紹介します。

### 並べ替え

**PageManager** では、ファイルの並べ順を変更することができます。表示メニューから**並べ替え**を選択し、サムネイルの配列を名前順、種類順、サイズ順、メモ順、日付順などの順番で並べ替えます。降順をクリックすると並び順が逆になり、昇順をクリックすると、元に戻ります。

### 整理

PageManager に取りこんだファイルを新規フォルダに種類別にまとめたり、削除、コピーしたりして整理する方法を以下にご紹介します。ファイルを並べ替え、削除などを行ったあと画面が更新されない場合、マウスを右クリックし**更新**をクリックして画面の更新を行います。

### 新規フォルダを作成

1. フォルダ表示ウィンドウからディスクドライブまたはフォルダを選択します。
2. 選択したフォルダまたはドライブの上でマウスを右クリックし、**新規フォルダ**を選択します。
3. 新しく作成されたフォルダの名前を入力します。

### ファイルを移動

1. 表示エリアでサムネイルを選択します。
2. フォルダ表示ウィンドウで移動先のフォルダまたはディスクドライブにドラッグします。

## ファイルを複製

1. コピーするサムネイルを選択します。
2. **編集メニュー**から**コピー**を選択します。
3. ファイルを保存するためのフォルダをクリックします。
4. **編集メニュー**から**貼り付け**を選択します。

## ファイルを削除

1. 削除したいサムネイルを選択します。
2. **編集メニュー**から**削除**を選択します。

## 名前の変更

ファイルの名前の変更は、個別またはバッチで行うことができます。各オプションの詳細は、以下をご参照ください。

### ファイルを別の名前で作成

1. ファイルを選択します。
2. **ツールメニュー**から**名前を変更**を選択します。また、サムネイルの上でマウスを右クリックし、リストから**名前を変更**を選ぶ方法もあります。
3. 新しい名前を入力します。

### 複数ファイルを一括してファイル名を変更

1. 連番をつけて管理したい複数のファイルを選択します。
2. **ツールメニュー**から**名前の変更バッチ処理**を選択します。
3. ダイアログボックスで、頭文字と連番の開始番号を入力します。
4. **OK** をクリックするとファイル名にプレフィックスと連続番号が付いて更新されます。

## スタック・スタック解除

スタックは、関連したファイルの形式が異なる場合や、一度に1ページずつしかスキャンできないスキャナを使用する場合、ファイルをグループ化したいときに便利です。

ファイルをスタックすると、PageViewer、でスタックされたすべてのファイルを一緒に開いたり、複数のファイルに共通の頭文字と連続番号を付けて一括で名前を変更したりすることができます。

スタックを行う場合、表示をサムネイルモードに切り替え、次のいずれかの方法を使用します。

- サムネイルを別のファイルの上にドラッグします。

- 複数のファイルを選択し、コマンドツールバーから  をクリックします。
- 複数のファイルを選択し、ツールメニューからスタックを選択します。
- 複数のファイルを選択し、マウスを右クリックして表示されるリストから、スタックを選択します。

マウスをスタックされたファイルの上に移動すると、サムネイルの上に、



が表示されます。上下の矢印をクリックすると、スタック内の上下のファイルに移動します。ツールメニューから**名前の変更バッチ処理...**を選択すると、スタックされたすべてのファイルの名前を一度に変更することができます。

スタック解除するには、次のいずれかを行ってください。

- スタックされたファイルを選択し、ツールバーから  をクリックします。

- スタックしたファイルの上でマウスを右クリックするか、[Ctrl]キーを押しながら、マウスをクリックします。表示されるメニューから、**[スタック解除]-[すべてのページ]**を選択すると、すべてのファイルが分解されます。または**[現在開いているページ]**を選択するとスタックから現在のファイルが切り離されます。
- スタックされたファイルの上でマウスを右クリックし、**スタック解除**を選択します。

## PageManager でファイルを保存

PageManagerでは、異なるプラットフォームで閲覧できるPDFをはじめ、さまざまな形式でファイルを保存することができます。対応しているフォーマットの種類は[付録 対応ファイル形式](#)をご参照ください。

ファイルの保存は、以下の手順でおこないます。



1. ツールバーから  をクリックし、ダイアログボックスを開きます。
2. **名前** : の欄にファイル名を入力し、**場所** : の欄で保存するフォルダを選択します。リストに保存先のフォルダがない場合、**名前** : の横の矢印ボタンをクリックしてフォルダ参照ウィンドウを開き、ここで保存先フォルダを参照して指定します。
3. **形式** : でファイル形式を選択します。
  - **JPEG** を選択すると、画質スライダが表示されます。スライダをドラッグして画質の調整を行います。
  - もとの形式が PDF 以外のファイルで、**PDF** を保存形式に選択すると、PageManager が PDF の変換をおこないます。**オプション** をクリックし、PDF のオプションを以下のように設定します。

**ドキュメントを保存 :**

複数のファイルを選択している場合、まとめて 1 個の PDF ファイルとして保存するか、別々の PDF ファイルとして保存するかを以下から選択します。

- **すべてのファイルを 1 個の PDF ファイルとして保存する**

- 各ドキュメントごとに新しい PDF ファイルとして保存

ドキュメントサイズ :

イメージをオリジナルサイズで保存するか、PDF のページサイズで保存するかを選択します。このオプションは、イメージにのみ有効です。

OCR オプション :

OCR 処理をおこなう際のオプションを以下から選択します。

- **イメージのみ** : イメージをそのままの状態に PDF ファイルに保存します。
  - **テキストとイメージ** : イメージが OCR 処理され、イメージとテキストを別々に PDF ファイルに保存します。
  - **イメージの下にテキストを配置** : イメージが OCR 処理され、イメージとテキストが分離されます。イメージの層の下にテキストを配置して PDF ファイルに保存します。
4. **OK** をクリックして PDF オプションの設定を終了し、ファイル保存のダイアログボックスへ戻ります。
  5. **保存** をクリックしてファイルを保存し、または **キャンセル** をクリックして変更を破棄しダイアログボックスを終了します。

## ファイル、フォルダのプロパティを指定

PageManager では、ファイルやフォルダのプロパティを使って検索をおこなうことができます。このため、ファイルやフォルダのプロパティを設定しておく、検索をすばやくおこなうことができます。プロパティの設定方法を以下にご説明します。

1. ファイルまたはフォルダの上でマウスを右クリックします。
2. 表示されたメニューから **プロパティ...** を選択します。ダイアログボックスにサイズ、パス、その他の情報が表示されます。
3. ファイルの付加情報などをコメント欄に入力します。ファイルに保護をかけたい場合、ロックをクリックしてチェックマークをいれると、ファイルがロックされ修正不可になります。

4. **[追加]** をクリックしてオーディオファイルをインポートするか、**[録音]** をクリックしてオーディオメモを録音します。録音をおこなう場合、あらかじめスピーカをコンピュータに接続する必要があります。



この機能は、お使いの OEM 版によっては機能に制限があるかまたはご使用不可の場合があります。

5. フォルダのプロパティで、**受信フォルダに設定**をクリックしてチェックマークをいれると、このフォルダはFAXの受信用フォルダに設定されます。このオプションについての詳細は、[受信したFAXまたはEメールをフォルダへ送信](#)をご参照ください。
6. 設定が終了したら、**OK** をクリックして設定を保存、または**キャンセル**をクリックして変更を破棄し、ダイアログボックスを終了します。

## マルチメディアファイルを再生

ファイル表示エリアで、オーディオまたはムービーファイルの再生をおこなえます。サムネイルビューでファイルの上にマウスを移動させ、 をクリックすると該当ファイルのデフォルトに設定されているプレーヤーでファイルの再生が開始されます。

## Webarchive ファイルを開く

ファイル表示エリアで、webarchive ファイルを開くことができます。サムネイルビューで Webarchive 形式のファイルをクリックすると、システムデフォルトのブラウザでファイルが開き、内容を参照することができます。但し内容の参照のみで、編集は不可です。

## PageManager でイメージをテキストに変換(OCR)

PageManager のパワフルな機能の 1 つが OCR (光学文字認識) です。これはイメージファイル内のテキストを認識し、変更可能なテキスト形式に変換する機能です。(この処理は、通常”認識処理“と呼ばれます。) 認識後、テキストとイメージは元の位置と相対的な位置に保存されます。OCR 処理した結果は PDF, RTFD または Web Archive などの形式で保存されます。OCR で認識された結果をチェックし、必要に応じて編集を行います。操作の手順は、以下をご参照ください。

1. 表示エリアでイメージファイルを選択します。



2. ツールバーから  をクリックします。
3. ファイルが OCR 処理され、イメージ内のテキストが編集可能なテキストに変換されて、PageViewer で開かれます。

OCRの設定の詳細は、[PageViewerでイメージをテキストに変換\(OCR\)](#)をご参照ください。

## PageManager でファイルの検索



PageManager の表示エリア内でファイルを検索します。ツールバー上のサーチフィールドに、ファイル名（全部、または一部）またはファイルの拡張子を入力します。表示エリアに該当ファイルが表示されます。

## ファイルの印刷および Fax

PageManager ではドラッグアンドドロップ操作で簡単にファイルを印刷または Fax することができます。プリンタドライバや Fax ドライバがインストールされており、コンピュータとプリンタが接続されていることを確認してください。

## 印刷および Fax の設定

プリンタまたは Fax を使用する前に、これらのプロパティを設定します。

1. **ファイルメニューからページの設定**を選択し、プリンタまたは Fax 機を選択し、用紙のタイプ、サイズ、印刷の向きなどの設定を行います。
2. 設定を確認したら、**OK** をクリックします。

## 印刷

PageManager での印刷はドラッグアンドドロップで簡単に実行できます。

1. ファイルを選択します。
2. **ファイルメニューから印刷をクリックして印刷を行います。**

## Fax

コンピュータに Fax モデムが搭載されており、Fax プログラムがインストールされている場合は、PageManager から直接ファイルを Fax することができます。

1. Fax したいファイルを選択します。
2. **ファイルメニューから印刷をクリックして FAX 選択し Fax プログラムを起動します。**
3. Fax メッセージの作成手順については、Fax プログラムの説明書をお読みください。



この機能はオプションとなっており、ご使用のバージョンによってはお使いいただけない場合があります。

## PrintFun (プリントファン)を使用する

PrintFun による印刷（プリントファン）では、鮮やかな写真、シールまたはカタログを印刷することができます。

1. PageManager の表示エリアでサムネイルの中から、好きな写真を選択します。
2. **ファイルメニューから PrintFun による印刷をクリックします。**
3. 各写真の下にあるボックスで、印刷部数を設定します。すべて設定... をクリックすると、枚数指定が全ての写真に一度にできます。OK ボタンをクリックして次に進みます。

4. **分類メニューから写真、シール、カタログ**を選び真中のダイアログボックスから用紙スタイルを選択し、**OK** ボタンを押して次へ進みます。使用したいレイアウトがリストに無い時は、**レイアウトの設定**をクリックし、好みに合わせて設定を行います。
5. **写真**リストの上にサムネイルを配列することができます。写真の配列は、以下の**範囲の適用**のコマンドを使用します。複数のイメージをレイアウトする場合、サムネイルリストからイメージを選び、**範囲を適用**をクリックします。プレビューでセルをクリックすると、選択されたイメージがページに挿入されます。

写真範囲の適用:オプション.

	選択した写真をシングルセルに加えます。
	選択した写真をセル列に加えます。
	選択した写真をページの最後まで全セルに加えます。



をクリックしてから、セルをクリックすると、該当セルの内容を削除します。cell.

印刷ページの追加を行うには、**ページの追加**をクリックします。現在開いているページを削除するには、**ページの削除**をクリックします。

6. サムネイルリストの下にある**オプション**ボタンをクリックし、写真の方向、セルサイズ、セルの位置合わせ等の調整を行います。調整された画像は左のプレビューウインドウで見られます。**OK** ボタンをクリックすると、前のウインドウに戻ります。**画像の追加**または**画像の削除**をクリックして、追加または削除を行います。
7. イメージを余白なしで印刷したい場合、**用紙**をクリックし新しいレイアウトを設定します。セルの高さと幅を、用紙の高さと幅と同じに設定し、上余白と左余白を0にセットして、**OK** をクリックして新しいレイアウトを保存し、前の画面に戻ります。サムネイルリストの下にある**オプション**ボタンをクリックし、**セルに合わせる**を選択してください。

 このオプションは、お使いのプリンタが粹無し印刷をサポートしている場合のみ有効です。プリンタのプロパティで粹無しを選択してください。

8. レイアウトをクリックして新規のレイアウトのデザインを行います。
9. 設定をチェックしたら、印刷をクリックし、写真の印刷を開始します。

## 受信した FAX または E メールをフォルダへ送信

PageManager では、フォルダを特定して E メールまたは FAX の受信用フォルダに設定することができます。受信されたファイルはここで設定されたフォルダへ送られます。受信フォルダの設定については、以下の手順をご参照ください。

1. フォルダウィンドウで受信フォルダに設定するフォルダを選び、マウスを右クリックして **プロパティ...** を選択します。
2. ダイアログボックスで、**受信フォルダに設定**の横のボックスにチェックマークをいれて有効にし、**設定** をクリックして、以下の設定を行います。
3. **信した書類をこのインボックスに移動:**の下で、**FAX フォルダまたはスペシャルフォルダ:**を選択します。**参照**をクリックし、お使いの FAX プログラムの受信フォルダ、またはその他特定のフォルダを選択します。受信されたファイルは、ここで受信用にしていされたフォルダへコピーされます。

 FAX フォルダまたはスペシャルフォルダは、ここで指定された受信フォルダと異なることを確認してください。

 システムフォルダは FAX またはスペシャルフォルダとして選択できません。システムフォルダが選択されると、システムファイルの移動やシステムのクラッシュの原因になります。

4. **OK** をクリックしてダイアログボックスを終了します。受信用に設定されたフォルダの横にフラッグが表示されます。

 お使いのバージョンによってはこの機能は制限があるかまたはご使用不可の場合があります。

## ファイルのバックアップ

PageManager では重要なファイルをバックアップしたり、復元したりすることができます。バックアップしたファイルは圧縮ファイルとしてバックアップフォルダに保存されます。

1. フォルダウィンドウでバックアップしたファイルを保存しておくフォルダを選択します。
2. ファイルメニューから **バックアップ** を選択し、**[バックアップ設定]** のダイアログボックスを表示します。
3. **参照** をクリックしてパスの変更をおこないます。
4. **[ラベル]** にタイトルを入力します。このようにしておくこと、以後簡単にバックアップファイルを探し出すことができます。
5. 将来ファイルを検索するときに使用できるように、**メモ** にその他の情報を入力します。
6. **[OK]** をクリックします。

バックアップファイルを復元するには、バックアップファイルを復元するフォルダを選択、または作成した後、**ファイルメニュー** から **復元** を選択します。バックアップファイルの場所を指定し、**OK** をクリックします。

## メニューコマンド

PageManager で表示されるメニューを以下にご紹介します。

### Presto! PageManager SE 9 メニュー

<b>Presto! PageManagerSE 9 バージョン情報...</b>	バージョン番号などのプログラム情報や著作権を表示します。
<b>環境設定...</b> ⌘	OCR でデフォルトで使用する言語を選択します。例えば日本語の資料を OCR する場合、他の言語が選択されていると PageManager では正しく認識されない場合があります。
<b>サービス</b>	バックグラウンドで起動しているジョブを表示します。
<b>Presto! PageManager SE 9 を隠す</b> ⌘H	Presto! PageManager を縮小し、画面下のドックにアイコン表示します。
<b>ほかを隠す</b> ⇧⌘H	他のアプリケーションを縮小し、画面下のドックにアイコン表示します。
<b>すべてを表示</b>	起動している全てのアプリケーションを画面に表示します。
<b>Presto! PageManager SE 9 を終了</b> ⌘Q	Presto! PageManager を終了します。

## ファイルメニュー

新規フォルダ ⌘N	新しいフォルダを作成します。
My PageManager へ ジャンプ	My PageManager へジャンプします。
ファイルを開く	ファイルを開くプログラムを選択します。 .
名前をつけて保存... ⇧⌘S	選択されたファイルを保存します。
バックアップ	ファイルをバックアップします。
復元	バックアップされたファイルを復元します。
イメージデータを取り 込む...	スキャナやデジタルカメラからイメージを取り 込みます。
取り込みデバイスを選 択...	イメージを取り込むためのデバイスを選択しま す。
スキャンの設定...	スキャン設定を変更します。
ページ設定... ⇧⌘P	プリンタまたは Fax の設定を変更します。
印刷... ⌘P	アクティブなドキュメントをプリンタまたは Fax アプリケーションに送ります。
PrintFun による印刷	イメージを写真やカタログ形式に印刷します。
情報を見る ⌘I	ファイルまたはフォルダの情報を表示します。

## 編集メニュー

元に戻す ⌘Z	直前におこなった操作を元に戻します。
やり直し ⇧⌘Z	元に戻した操作をやり直します。
切り取り ⌘X	選択したオブジェクトをクリップボードに貼り付けます。
コピー ⌘C	選択したオブジェクトをクリップボードに複製します。
貼り付け ⌘V	クリップボードからオブジェクトを挿入します。
削除 ⌘⌫	選択したオブジェクトを削除します。
すべて選択 ⌘A	表示エリアに表示されているすべてのアイテムを選択にします。

## 表示メニュー

サムネイル	表示モードをサムネイル表示に切り替えます。
リスト	表示モードをリスト表示に切り替えます
並び順序	ファイルを、名前順、種類順、サイズ順、メモ順、日付順で並べ替えを行います。昇順、降順をクリックすると、並べ順が逆になります。
ツールバーを表示/隠す	ツールバーを画面から隠したり、隠れているツールバーを表示したりします。

ツールバーをカスタマイズ ...	ツールバーに表示するアイコンの追加、削除、またはアイコンの表示スタイルの変更などを行います。
更新	PageManager の表示エリアを更新し、最新の状態にします。

## ツールメニュー

スタック	サムネイルを別のサムネイルにドラッグして積み重ねます。	
スタック解除	すべてのページ	スタックファイルを分離させます。
	現在開いているページ	現在開いているファイルをスタックから分離させます。
OCR を実行	Presto! Page Viewer を開き、選択されたファイルに OCR を実行します。	
すべてのファイルを 1 つの PDF にまとめる	複数のファイルを一個の PDF に合成します。	
PDF ファイルを分割	PDF ファイルをページごとの複数の PDF に分割します。	
すべてのイメージを 1 つのマルチページ TIFF にまとめる	複数のイメージファイルを一個のマルチ TIFF に合成します。	
マルチページ TIFF を分割	マルチページ TIFF ファイルをページごとの複数の TIFF ファイルに分割します。	
名前を変更	ファイルの名前を変更します。	

名前の変更バッチ処理...	複数のファイルに連番を付け、名前の変更をバッチで行います。
Presto! EZPictureを起動する	EZPictureを起動してイメージの編集をおこないます。   この機能は、お使いの OEM 版によっては機能に制限があるかまたはご使用不可の場合があります。
スライドショー	スライドショーで選択したイメージを再生します。
壁紙に使用する	選択したイメージを壁紙として設定します。   この機能は、お使いの OEM 版によっては機能に制限があるかまたはご使用不可の場合があります。

## ヘルプメニュー

検索	キーワードを入力し、関連の項目の検索をおこないます。
NewSoft Website ヘルプ	NewSoft のホームページへリンクします。製品のアップデート情報などをご確認いただけます。
ヘルプ	ヘルプファイルを開きます。

## Scan Buttons メニュー

Scan Buttons がメニューバーに表示されている場合、スキャンボタンの上でマウスを右クリックし、以下のメニューを表示します。

取り込みデバイスを選択...	イメージを取り込むためのデバイスを選択します。
----------------	-------------------------

<b>PageManager</b> ヘスキャン	イメージをスキャンし、PageManager で開きます。
<b>フォルダ</b> ヘスキャン	イメージをスキャンし、指定されたフォルダに保存します。
<b>Mail</b> ヘスキャン	イメージをスキャンし、指定の E-mail プログラムを起動して、スキャンされたイメージを添付します。
<b>コピーしてプリント</b>	イメージをスキャンし、指定されたプリンタへ送ります。
<b>OCR</b> ヘスキャン	イメージをスキャンし、OCR 処理を行います。
<b>PDF</b> ヘスキャン	イメージをスキャンし、PDF ファイルに変換します。
<b>Presto! Scan Buttons</b> の環境設定を開く...	ダイアログボックスを開き、スキャンボタンの設定を行います。
<b>終了</b>	Scan Button を終了し、システムトレイから隠します。

## ショートカットメニュー（ツールバー）

ツールバーの上でマウスを右クリックして、以下のメニューを表示します。以下のオプションを使用し、ツールバーに表示するアイコンを追加、削除、アイコンのサイズの変更などを行います。

<b>アイコンとテキスト</b>	アイコンとツールチップを表示します。
<b>アイコンのみ</b>	アイコンのみ表示します。
<b>ラベルのみ</b>	ツールチップのみ表示します。
<b>小さなサイズを使用</b>	アイコンを小さいサイズで表示します。

項目を取り除く	選択したアイコンをツールバーから削除します。
ツールバーをカスタマイズ...	ダイアログボックスを開き、ツールバーのカスタマイズを行います。

## ショートカットメニュー（サムネイル）

表示モードがサムネイルの場合、表示エリアのサムネイルの上でマウスを右クリックし、以下のメニューを表示します。

サムネイル	表示モードをサムネイル表示に切り替えます。	
リスト	表示モードをリスト表示に切り替えます。	
ファイルを開く	選択されたファイルを開くアプリケーションを選択します。	
名前をつけて保存...	選択されたファイルを別の名前で保存します。	
印刷...	アクティブなドキュメントをプリンタまたはFaxアプリケーションに送ります。	
Finder で参照	Finder を開き、選択されたファイルの場所を参照します。	
スタック	サムネイルを別のサムネイルにドラッグして積み重ねます。スタックされたファイルは上下矢印をクリックして移動できます。	
スタック解除	すべてのページ	スタックファイルを分離させます。
	現在開いているページ	現在開いているファイルをスタックから分離させます。

コピー	選択したオブジェクトをクリップボードに複製します。
貼り付け	クリップボードからオブジェクトを挿入します。
削除	選択したオブジェクトを削除します。
名前の変更	選択されたファイルの名前を変更します。
名前の変更バッチ処理...	複数のファイルに連番を付け、名前の変更をバッチで行います。
更新	画面の表示を更新し、最新の状態にします。
すべて選択	表示エリアに表示されているすべてのアイテムを選択にします。
プロパティ	ダイアログボックスを開き、ファイルの情報を表示します。

## ショートカットメニュー（ドキュメントパレット）

ドキュメントパレットが表示されている場合、ドキュメントパレットの上でマウスを右クリックし、以下のメニューを表示します。

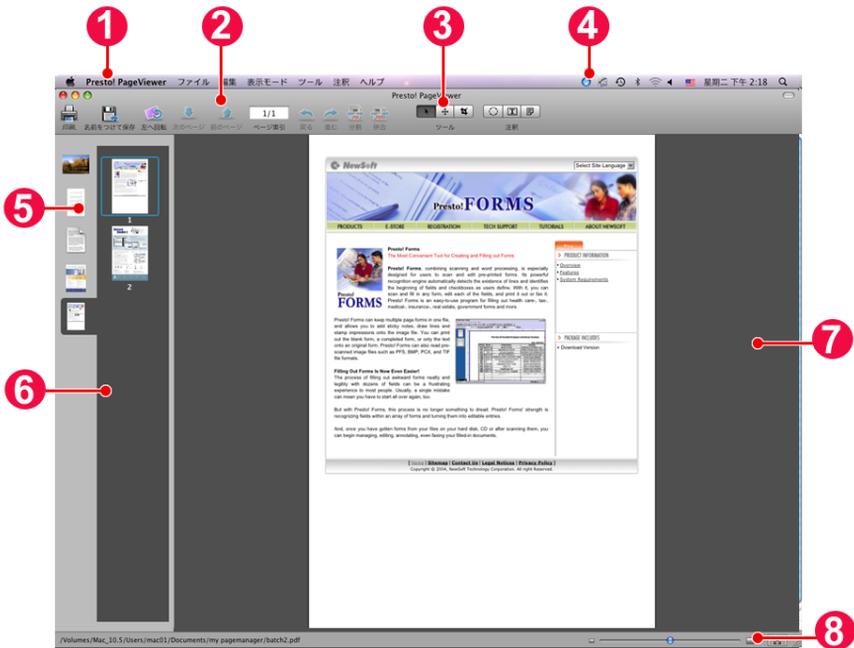
<b>スタック</b>	ドキュメントパレット内でファイルのスタックを行います。
<b>スタック解除</b>	ドキュメントパレット内でスタックされたファイルの解除を行います。
<b>クイックリンクを削除</b>	ドキュメントパレットから選択されたファイルを削除します。
<b>送信</b>	選択されたファイルを設定で指定されたフォルダに送ります。
<b>メール</b>	選択されたファイルを設定で指定された E-mail アプリケーションに送ります。
<b>印刷</b>	選択されたファイルをプリンタまたは Fax アプリケーションに送ります。
<b>更新</b>	画面の表示を更新し、最新の状態にします。

## 第3章 PageViewerの操作

PageManager で取り込まれたファイルは、Presto! PageViewer で編集したり、アノテーションをつけたりできます。画面の各部の名称や、各オプションの詳細は、次の各トピックをご参照ください。

### PageViewer メインスクリーン各部の名称

PageViewer の画面の各部の名称と働きをご紹介します。コマンドツールバーの表示オプションやメニューオプションは、選択されたドキュメントの種類により異なります。



PageManager で選択したアイテムをダブルクリックし PageViewer を開きます。PageViewer では、イメージを表示したり、編集したり、アノテーションを付けたりすることができます。現在開いているファイルの形式に応じて、ツールバーには異なるツールが用意されます。詳細は、以下をご参照ください。

①	<b>PageViewer メニューバー</b>	メニューバーにはプログラムの機能を実行するためのコマンドがあります。
②	<b>PageViewer コマンドツールバー</b>	コマンドツールバーにはよく使用されるコマンドがアイコンで表示されています。表示されるコマンドは、選択されたファイル形式により異なります。詳細は、 <a href="#">ファイルの種類別メニューおよびコマンド</a> をご参照ください。
③	<b>アノテーションツールバー</b>	イメージまたはPDFをPageViewerで開くと、ツールバーの右にアノテーションツールがパレット表示されます。各ツールの詳細は、 <a href="#">アノテーションツールバー (PDF)</a> または <a href="#">アノテーションツールバー (イメージ)</a> をご参照ください。
④	<b>Presto! Scan Buttons</b>	<p>メニューバーからアイコンをクリックし、PageManager を開くことなく、ファイルをスキャンして開く、または保存する作業をワンステップで行います。</p> <p>メニューバーに ScanButton アイコンが表示されていない場合、PageManager を開き、ツールバー上の  をクリックして、メニューバー上に表示させます。</p>
⑤	<b>ファイルリスト</b>	選択されたファイルがリストで表示されます。現在、表示エリアで開いているファイルが複数ページある場合、ページがページリストに表示されます。
⑥	<b>ページリスト</b>	ファイルリストで選択したファイル内のページが表示されます。ページリスト内でページをドラッグし、順番を変更することができます。

7	表示エリア	選択されたファイルをページ表示します。ツールバー上のアイコンまたはメニューコマンドを使い、編集したり、アノテーションを付いたりなどを行います。
8	ステータスバー	現在開いているファイルのパスや名前などの情報が表示されます。スライダーをドラッグして、表示の拡大、縮小を行います。  をクリックして、ファイルを全体表示に切り替えます。

## PageViewer でファイルにアノテーションをつける

PageManagerでファイルに編集用のマーク付けをおこなえます。テキスト入力、スタンプ、ハイライト、線画、または付箋の追加などのアノテーションを付けることができます。PageViewerではPDFまたはイメージファイルを開くと、[テキストアノテーションツール](#)または[イメージアノテーションツール](#)が表示されます。詳細は、[アノテーションツールバー \(PDF\)](#)または[アノテーションツールバー \(イメージ\)](#)をご参照ください。

## PageViewer でイメージをテキストに変換(OCR)

PageManager のパワフルな機能の 1 つが OCR (光学文字認識) です。これはイメージファイル内のテキストを認識し、変更可能なテキスト形式に変換する機能です。(この処理は、通常”認識処理“と呼ばれます。) 認識後、テキストとイメージは元の位置と相対的な位置に保存されます。OCR 処理した結果は PDF, RTFD または WebArchive などの形式で保存されます。OCR で認識された結果をチェックし、必要に応じて編集を行います。操作の手順は、以下をご参照ください。

1. ファイルまたはページリストからファイルを選択します。



2. コマンドツールバーから  をクリックします。
3. イメージ内の文字がテキストとして認識され、PageViewer の OCR ビューで開かれます。



4. 内容を確認したら、ツールバーから  をクリックします。
5. **名前**：の欄にファイル名を入力し、**場所**：の欄で保存先のフォルダを選択し、ファイル形式を以下のいずれからか選択します。
  - **PDF**： ファイルを PDF 形式に変換して保存します。
  - **Rich Text With Graphics Format (RTFD)**： 認識した結果のテキストとイメージをオリジナルのファイルと相対の位置に保存します。
  - **Web Archive**： 認識した結果のテキストとイメージをオリジナルのファイルと相対の位置に保存します。
6. **保存**をクリックしてファイルを保存し、または**キャンセル**をクリックして変更を破棄しダイアログボックスを終了します。



OCR でよりよい結果を得るためには、画質が非常に重要となります。スキャン時の解像度を 300~600 dpi に設定し、スキャン後 OCR 処理を開始する前に、**ノイズを削除** ツールを使ってスキャンしたイメージを調整してください。

## PageViewer でファイルを保存

PageViewerでは、異なるプラットフォームで閲覧できるPDFをはじめ、さまざまな形式でファイルを保存することができます。対応しているフォーマットの種類は[付録 対応ファイル形式](#)をご参照ください。

ファイルの保存は、以下の手順でおこないます。

### ドキュメントファイルを保存

ドキュメントファイルは PDF またはイメージ形式で保存することができます。以下の手順をご参照ください。



1. ツールバーから  をクリックし、ダイアログボックスを開きます。また、ファイルメニューから**名前を付けて保存**を選択する方法もあります。

2. **名前**：の欄にファイル名を入力し、**場所**：の欄で保存するフォルダを選択します。リストに保存先のフォルダがない場合、**名前**：の横の矢印ボタンをクリックしてフォルダ参照ウィンドウを開き、ここで保存先フォルダを参照して指定します。
3. **形式**：でファイルの保存形式を選択します。

- **JPEG** を選択すると、画質スライダが表示されます。スライダをドラッグして画質の調整を行います。
- もとの形式が PDF 以外のファイルで、**PDF** を保存形式に選択すると、PageManager が PDF の変換をおこないます。**オプション** をクリックし、PDF のオプションを以下のように設定します。

#### ドキュメントの保存形式：

複数のファイルを選択している場合、まとめて 1 個の PDF ファイルとして保存するか、別々の PDF ファイルとして保存するかを以下から選択します

- **すべてのファイルをまとめて 1 個の PDF として保存する**
- **各ドキュメントごとに個別の PDF として保存**

#### ドキュメントサイズ

イメージをオリジナルサイズで保存するか、PDF のページサイズで保存するかを選択します。このオプションは、イメージにのみ有効です。

#### OCR オプション

OCR 処理をおこなう際のオプションを以下から選択します。

- **イメージのみ**: イメージをそのままの状態に PDF ファイルに保存します。
- **テキストとイメージ**: イメージが OCR 処理され、イメージとテキストを別々に PDF ファイルに保存します。
- **イメージの下にテキストを配置**：イメージが OCR 処理され、イメージとテキストが分離されます。イメージの層の下にテキストを配置して PDF ファイルに保存します。

**OK** をクリックして PDF オプションの設定を終了し、ファイル保存のダイアログボックスへ戻ります。

4. **保存**をクリックしてファイルを保存し、または**キャンセル**をクリックして変更を破棄しダイアログボックスを終了します。

## イメージファイルを保存



1. ツールバーから  をクリックし、ダイアログボックスを開きます。また、ファイルメニューから**名前を付けて保存**を選択する方法もあります。
2. **名前**：の欄にファイル名を入力し、**場所**：の欄で保存するフォルダを選択します。リストに保存先のフォルダがない場合、**名前**：の横の矢印ボタンをクリックしてフォルダ参照ウィンドウを開き、ここで保存先フォルダを参照して指定します。
3. **形式**：でファイルの保存形式を選択します。
  - **JPEG** を選択すると、画質スライダが表示されます。スライダをドラッグして画質の調整を行います。
  - もとの形式がPDF以外のファイルで、**PDF**を保存形式に選択すると、PageManagerがPDFの変換をおこないます。**オプション**をクリックし、PDFのオプションを設定します。詳細は、[PDFオプションの設定](#)をご参照ください。

**OK** をクリックして PDF オプションの設定を終了し、ファイル保存のダイアログボックスへ戻ります。
4. ファイルにアノテーションが追加されている場合、**設定**をクリックし、アノテーションの保存オプションを次から選びます。
  - イメージを付箋つきで保存する。付箋の内容は一般のイメージアプリケーションで閲覧できる。
  - イメージを付箋つきで保存する。付箋の内容は Presto! PageManager でのみ閲覧できる。
  - イメージを付箋なしで保存する。
5. **保存**をクリックしてファイルを保存し、または**キャンセル**をクリックして変更を破棄しダイアログボックスを終了します。

## PageViewer でファイルを検索

PageViewer では、開いているファイルの文字または内容をキーワードに使い、PC 内で該当する文字をファイル名、ファイルの内容またはファイルプロパティのコメントから検索をおこないます。さらに、Google 検索を使い、関連情報を検索することもできます。詳細は、以下のトピックをご参照ください。

### コンピュータ内のファイルを検索

1. PageManger でドキュメントファイルをダブルクリックし PageViewer を開きます。
2. ファイル内の文字、またはセクションをドラッグしてハイライトし、マウスを右クリックして、**Spotlight で検索**を選択します。ダイアログボックスが開き、検索結果がリスト表示されます。

### Google を使いファイルを検索

1. PageViewer でファイルを開きます。
2. ファイル内の文字、またはセクションをドラッグしてハイライトし、マウスを右クリックしてリストから、**Google で検索**を選択します。ダイアログボックスが開き、検索結果がリスト表示されます



このオプションには、インターネットの接続が必要です。

## ファイルの印刷と Fax

PageManager ではドラッグアンドドロップ操作で簡単にファイルを印刷または Fax することができます。プリンタドライバや Fax ドライバがインストールされており、コンピュータとプリンタが接続されていることを確認してください。

### 印刷および Fax の設定

プリンタまたは Fax を使用する前に、これらのプロパティを設定します。

1. **ファイルメニューからページの設定**を選択し、プリンタまたは Fax 機を選択し、用紙のタイプ、サイズ、印刷の向きなどの設定を行います。
2. 設定を確認したら、**OK** をクリックします。

## 印刷

印刷はドラッグアンドドロップで簡単に実行できます。

1. ファイルを選択します。
2. **ファイルメニューから印刷**をクリックして印刷を行います。

## Fax

コンピュータに Fax モデムが搭載されており、Fax プログラムがインストールされている場合は、PageManager から直接ファイルを Fax することができます。

1. Fax したいファイルを選択します。
2. **ファイルメニューから印刷**をクリックして FAX 選択し Fax プログラムを起動します。
3. Fax メッセージの作成手順については、Fax プログラムの説明書をお読みください。



この機能はオプションとなっており、ご使用のバージョンによってはお使いいただけない場合があります。

## ファイルの種類別メニューおよびコマンド

PageViewer のメニューおよびコマンドツールバーに表示されるオプションは、選択されたドキュメントの種類により異なります。できます。詳細は、以下をご参照ください。

### PageViewer 共通メニュー

選択されたドキュメントの種類に関わりなく常に表示される、共通メニューです。

### Presto! PageViewer メニュー

<b>Presto! PageViewer</b> バージョン情報...	バージョン番号などのプログラム情報や著作権を表示します。
<b>環境設定...</b> ⌘	OCR でデフォルトで使用する言語を選択します。例えば日本語の資料を OCR する場合、他の言語が選択されていると PageManager では正しく認識されない場合があります。
<b>サービス</b>	バックグラウンドで起動しているジョブを表示します。
<b>Presto! PageViewer</b> を隠す ⌘H	Presto! PageView を縮小し、画面下のドックにアイコン表示します。
<b>他を隠す</b> ⇧⌘H	他のアプリケーションを縮小し、画面下のドックにアイコン表示します。
<b>すべてを表示</b>	起動している全てのアプリケーションを画面に表示します。
<b>Presto! PageViewer</b> を終了 ⌘Q	Presto! PageViewer を終了し、PageManager の画面へ戻ります。

## ファイルメニュー

保存 ⌘S	現在開いているファイルを上書き保存します。
名前をつけて保存... ⇧⌘S	選択されたファイルを別の名前で保存します。
ページ設定... ⇧⌘P	プリンタまたは Fax のページ設定を変更します。
印刷... ⌘P	アクティブなドキュメントをプリンタまたは Fax アプリケーションに送ります。

## 編集メニュー

元に戻す ⌘Z	最後の操作を元に戻します。
やり直す ⇧⌘Z	最後に元に戻した操作をやり直します。
切り取り ⌘X	選択したオブジェクトをクリップボードに貼り付けます。
コピー ⌘C	選択したオブジェクトをクリップボードに複製します。
貼り付け ⌘V	クリップボードからオブジェクトを挿入します。
削除	選択したオブジェクトを削除します。
すべて選択 ⌘A	表示エリアに表示されているすべてのアイテムを選択にします。
検索	検索を行います。検索、次を検索、前を検索、選択部分を検索に使用、選択部分へジャンプから選択方法を選びます。

スペル	スペルのチェックを行います。 <b>スペルと文法を表示、書類を今すぐチェック、入力中にスペルチェックからチェック方法を選択</b> します。
特殊文字 	記号やシンボルなどの特殊文字を挿入します。ドキュメント上の特殊文字を挿入する位置をクリックし、パレットから特殊文字を選択して入力をクリックして挿入を行います。

## 表示モードメニュー

ツールバーを 表示/隠す 	ツールバーを表示します。
ツールバーを カスタマイズ ...	ツールバーに表示するアイコンの追加、削除、またはアイコンの表示スタイルの変更などを行います。詳細は、 <a href="#">コマンドツールバーの設定変更</a> を参照ください。

## ヘルプメニュー

検索	キーワードを入力し、関連の項目の検索をおこないません。
NewSoft Website へリンク	NewSoft のホームページへリンクします。製品のアップデート情報などをご確認いただけます。
ヘルプ	ヘルプファイルを開きます。

## PageViewer ドキュメントファイル

テキスト、Word、Excel、PPTのドキュメントファイルに表示されます。これらのメニューやコマンドは、編集可能なドキュメント(\*.rtf, \*.txt, \*.doc or \*.xmlなど)をPageViewerで開いたときに表示されます。対応ファイルの詳細は、[付録 対応ファイル形式](#)をご参照ください。

### PageViewer コマンドツールバー（ドキュメント）

PageViewer でドキュメントを開くと、以下のアイコンがツールバーに表示されます。

	<b>印刷</b>	選択したファイルの印刷を行います。
	<b>名前をつけて保存</b>	選択したファイルを別の名前で保存します。
	<b>結合 PDF</b>	複数のファイルを一個の PDF に合成します。

### ツールメニュー

すべてのファイルを 1つのPDFにまとめる 	複数のファイルを1つのPDFに結合します。
---	-----------------------

### フォーマットメニュー

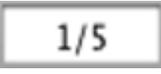
<b>フォント</b>	フォントスタイルをリストから選択します。
<b>テキスト</b>	テキストの配置形式をリストから選択します。

## PageViewer PDF ファイル

以下に、PDF ファイルを PageViewer で開いたときに表示されるメニューコマンドをご紹介します。

### PageViewer コマンドツールバー (PDF)

PageViewerでPDFファイルを開くと、以下のようなアイコンがコマンドツールバーに表示されます。コマンドによっては画面から隠れている場合があります。隠れているコマンドの表示や、表示されているコマンドを隠すなどの設定は、[コマンドツールバーの設定変更](#)をごらんしてください。

	<b>印刷</b>	選択したファイルの印刷を行います。
	<b>名前をつけて保存</b>	選択したファイルを別の名前で保存します。
	<b>左へ回転</b>	選択されたファイルを左に 90 度回転します。
	<b>右へ回転</b>	選択されたファイルを右に 90 度回転します。
	<b>次のページ</b>	次のページを表示します。
	<b>前のページ</b>	前のページを表示します。
	<b>ページ索引</b>	ページ番号を入力し Enter をおして指定したページへジャンプします。
	<b>元に戻す</b>	最後に行った操作を元に戻します。

	やり直し	元に戻した操作をやり直します。
	分割 PDF	PDF ファイルをページごとの複数の PDF に分割します。
	結合 PDF	複数のファイルを一個の PDF に合成します。

## ツールバー (PDF)

PageViewer で PDF ファイルを開くと、以下のようなアノテーションがツールバーに表示されます。同じコマンドをツールメニューから選択する方法もあります。

	選択	ドキュメントの上でマウスをドラッグして範囲を選択します。
	移動	イメージの一部が画面の外にはみ出している場合など、このツールをクリックして、画面全体を前後、左右に移動することができます。
	切り抜き	イメージの一部を選択し、残りの部分を切り捨てます。ツールをクリックして維持したいエリアをドラッグします。選択した矩形の内側でマウスをクリックして、選択範囲の外側を切り落とします。

## アノテーションツールバー (PDF)

ツールバー上の以下のコマンドは、アノテーションメニューから選択することもできます。

	楕円形	ツールをクリックしてドキュメントの上でマウスをドラッグし、楕円形を挿入します。挿入された楕円形の上でマウスをドラッグして移動、またはノード（挿入された楕円形の上でマウスクリッ
---	-----	---

		<p>クした時に、右下角に表示される四角形) をドラッグして、サイズの変更などができます。</p> 
	テキスト	<p>ドキュメントの上でマウスをクリックし、テキスト入力画面を挿入します。テキスト入力画面の上でマウスをダブルクリックし、テキストの入力を行います。OK をクリックしてウィンドウを終了します。</p>
	コメント	<p>ドキュメントの上でマウスをクリックし、コメントを挿入します。コメントの上でマウスをダブルクリックし、テキストの入力を行います。コメントの上でマウスをダブルクリックすると、編集をおこなえます。</p>

## ツールメニュー (PDF)

<p>すべてのファイルを 1つのPDFにまとめる</p> 	<p>複数のファイルを一個の PDF に合成します。</p>
<p>PDF ファイルを分割</p> 	<p>PDF ファイルをページごとの複数の PDF に分割します。</p>
<p>左へ回転</p> 	<p>選択されたファイルを左に 90 度回転します。</p>
<p>右へ回転</p> 	<p>選択されたファイルを右に 90 度回転します。</p>
<p>次のページ</p> 	<p>次のページを表示します。</p>

前のページ ⌘ ←	前のページを表示します。
戻る ⌘ [	最後に行った操作を元に戻します。
進む ⌘ ]	元に戻した操作をやり直します。
選択ツール ⌘ 1	ドキュメントの上でマウスをドラッグして範囲を選択します。
移動ツール ⌘ 2	イメージの一部が画面の外にはみ出している場合など、このツールをクリックして、画面全体を前後、左右に移動することができます。
切り抜き ⌘ 3	イメージの一部を選択し、残りの部分を切り捨てます。ツールをクリックして維持したいエリアをドラッグします。選択した矩形の内側でマウスをクリックして、選択範囲の外側を切り落とします。

## アノテーションメニュー (PDF)

フォントを表示 ⌘ T	フォント設定のダイアログボックスを開きます。
カラーを表示 ⇧ ⌘ C	カラー設定のダイアログボックスを開きます。
楕円形 ⌘ 4	ドキュメントの上でマウスをドラッグし、楕円形を挿入します。
テキスト ⌘ 5	ドキュメントの上でマウスをクリックし、テキスト入力画面を挿入します。テキスト入力画面の上でマウスをダブルクリックし、テキストの入力を行います。 <b>OK</b> をクリックしてウィンドウを終了します。

<b>コメント</b> <b>386</b>	<p>ドキュメントの上でマウスをクリックし、コメントを挿入します。コメントの上でマウスをダブルクリックし、テキストの入力を行います。コメントの上でマウスをダブルクリックすると、編集をおこなえます。</p>
---------------------------	--

## PDF ショートカットメニュー

PageViewer で開かれている PDF の上でマウスを右クリックしたときに表示されるメニューを以下にご紹介します。

<b>自動的にサイズを変更</b>	<p>表示サイズが画面に合うよう自動的に変更されます。</p>
<b>拡大</b>	<p>表示を拡大します。</p>
<b>縮小</b>	<p>表示を縮小します。</p>
<b>実際のサイズ</b>	<p>.実寸で表示されます。</p>
<b>単一ページ</b>	<p>1 ページずつ表示されます。</p>
<b>単一ページ (連続)</b>	<p>1 ページずつ表示され、画面で次のページにスクロールできます。</p>
<b>2 ページ</b>	<p>2 ページずつ表示されます。</p>
<b>2 ページ (連続)</b>	<p>2 ページずつ表示され、画面で次の 2 ページにスクロールできます。</p>
<b>次のページ</b>	<p>.次のページがある場合、次のページへ進みます。</p>
<b>前のページ</b>	<p>前のページがある場合、前のページへ戻ります。</p>

## PageViewer イメージファイル

以下に、TIFFなどのイメージファイルをPageViewerで開いたときに表示されるメニューコマンドをご紹介します。対応ファイルの詳細は、[付録 対応ファイル形式](#)をご参照ください。

### PageViewer コマンドツールバー（イメージ）

PageViewerでイメージファイルを開くと、以下のようなアイコンがコマンドツールバーに表示されます。コマンドによっては画面から隠れている場合があります。隠れているコマンドの表示や、表示されているコマンドを隠すなどの設定は、[コマンドツールバーの設定変更](#)をご参照ください。

	<b>印刷</b>	選択したファイルの印刷を行います。
	<b>名前をつけて保存</b>	選択したファイルを別の名前で保存します。
	<b>左へ回転</b>	選択されたファイルを左に 90 度回転します。
	<b>右へ回転</b>	選択されたファイルを右に 90 度回転します。
	<b>平行に反転</b>	イメージを左右に反転させます。
	<b>垂直に反転</b>	イメージを上下に反転させます。
	<b>色を反転</b>	イメージの色がフォトのネガのように反転します。イメージの色は補色に置きかえられます。

	<b>ノイズを削除</b>	イメージの汚れを除去することができます。OCR の向上に役立ちます。
	<b>調整</b>	イメージの全体的な色調を変更します。ダイアログボックスで各オプションのスライダをドラッグしてプレビュー画面で効果をみながら調整を行います。調整が完了したら、  をクリックしてダイアログボックスを終了します。
	<b>OCR</b>	選択したファイルに OCR 処理を行います。
	<b>結合 PDF</b>	複数のファイルを一個の PDF に合成します。

## ツールバー (イメージ)

PageViewer でイメージファイルを開くと、以下のようなアノテーションがツールバーに表示されます。同じコマンドをツールメニューから選択する方法もあります。

	<b>選択</b>	ファイルの上でマウスをドラッグして範囲を選択します。
	<b>移動</b>	イメージの一部が画面の外にはみ出している場合など、このツールをクリックして、画面全体を前後、左右に移動することができます。
	<b>方形選択ツール</b>	マウスをドラッグして、編集したい部分を選択します。ドラッグされて部分のみ編集内容が適用されます。

	切り抜き	イメージの一部を選択し、残りの部分を切り捨てます。ツールをクリックして維持したいエリアをドラッグします。選択した矩形の内側でマウスをクリックして、選択範囲の外側を切り落とします。
	消しゴム	マウスをドラッグし、イメージのいらぬ部分を除去します。

## アノテーションツールバー（イメージ）

PageViewer でイメージファイルを開くと、イメージアノテーションツールがツールバーの右側に表示されます。ツールをクリックし、表示エリアの上でマウスをクリックしてアノテーションをつけます。同じコマンドをアノテーションメニューから選択する方法もあります。

	テキスト	テキストを追加したい部分をクリックし、テキストの入力を行います。
	ハイライト	ツールをクリックし、イメージの上でマウスをドラッグしてハイライトをつけます。
	フリーハンドライン	ツールをクリックし、イメージの上でマウスをドラッグしてフリーハンドの線を引きます。
	直線	ツールをクリックし、イメージの上でマウスをドラッグして直線を引きます。
	付箋	ツールをクリックし、イメージの上でマウスをクリックして付箋を挿入します。ダイアログボックスのノートに情報を入力します。 テキストを書き直すには、

## スタンプ

このツールを使用して、日付、イメージ、テキストなどを選択した範囲にスタンプのように挿入します。

### スタンプを挿入

1.  をクリックし、リストからスタンプを選択します。
2. スタンプを押したい場所をクリックすると、イメージ上にすぐにスタンプが現れます。

### スタンプを作成

1. アノテーションメニューからスタンプを選択し、**スタンプの設定**をクリックします。
2. **イメージスタンプを追加**をクリックし、**参照**を選択してイメージを指定するか、または**テキストスタンプを追加**をクリックして**スタンプテキスト**の欄にテキストを入力します。**スタンプテキスト**の欄には**時間**や**日付**を挿入し、スタンプとして使用することもできます。
3. **名前**の欄にスタンプ名を入力します。
4. **OK** をクリックします。

### スタンプの削除または修正

1. アノテーションメニューからスタンプを選択し、**スタンプの設定**をクリックします。
2. スタンプの種類を選択し、**削除**または**修正**をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

 **スタンプの削除、修正は、新規に作成されたスタンプにのみ適用でき、インストール時に提供された付属のスタンプには適用できません。**



## ツールメニュー（イメージ）

OCR を実行 ⌘O	選択したファイルに OCR（認識）処理をおこないます。
すべてのファイルを1つのPDFにまとめる ⌘M	複数のファイルを一個の PDF に合成します。
左へ回転 ⌘L	選択されたファイルを左に 90 度回転します。
右へ回転 ⌘R	選択されたファイルを右に 90 度回転します。
平行に反転	イメージを左右に反転させます。
垂直に反転	イメージを上下に反転させます。
色を反転 ⌘I	イメージの色がフォトのネガのように反転します。イメージの色は補色に置きかえられます。
ノイズを削除 ⌘R	イメージの汚れを除去することができます。OCR の向上に役立ちます。
カラー調整 ⌘C	イメージの全体的な色調を変更します。ダイアログボックスで各オプションのスライダをドラッグしてプレビュー画面で効果をみながら調整を行います。調整が完了したら、  をクリックしてダイアログボックスを終了します。
選択ツール ⌘O	ファイルの上でマウスをドラッグして範囲を選択します。
移動ツール ⌘1	イメージの一部が画面の外にはみ出している場合など、このツールをクリックして、画面全体を前後、左右に移動することができます。

<b>方形選択ツール</b> <b>⌘2</b>	マウスをドラッグして、編集したい部分を選択します。ドラッグされて部分のみ編集内容が適用されます。
<b>切り抜き</b> <b>⌘3</b>	イメージの一部を選択し、残りの部分を切り捨てます。ツールをクリックして維持したいエリアをドラッグします。選択した矩形の内側でマウスをクリックして、選択範囲の外側を切り落とします。
<b>消しゴム</b> <b>⌘4</b>	マウスをドラッグし、イメージのいらぬ部分を除去します。

## アノテーションメニュー（イメージ）

<b>罫線を表示</b> <b>⇧⌘L</b>	線の属性を設定するダイアログボックスが開きます。幅の設定を行います。
<b>フォントを表示</b> <b>⌘T</b>	フォントタイプを設定するダイアログボックスが開きます。フォントタイプ、サイズなどの指定を行います。
<b>カラーを表示</b> <b>⇧⌘C</b>	色を設定するダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスでタブをクリックし、色の設定を行います。
<b>テキスト</b> <b>⌘5</b>	テキストを追加したい部分をクリックし、テキストの入力を行います。
<b>ハイライト</b> <b>⌘6</b>	ツールをクリックし、イメージの上でマウスをドラッグしてハイライトをつけます。
<b>フリーハンドライン</b> <b>⌘7</b>	ツールをクリックし、イメージの上でマウスをドラッグしてフリーハンドの線を引きます。
<b>直線</b> <b>⌘8</b>	ツールをクリックし、イメージの上でマウスをドラッグして直線を引きます。

<b>付箋</b> <b>389</b>	<p>ツールをクリックし、イメージの上でマウスをクリックして付箋を挿入します。ダイアログボックスのノートに情報を入力します。</p> <p>テキストを書き直すには、 をクリックしてメモをダブルクリックします。ダイアログボックスが表示されますので、テキストを書き直したり、スタイルや背景色を変更したりできます。</p>
<b>スタンプ</b>	<p>このオプションの上にマウスを移動し、リストからスタンプの種類をクリックして選択し、イメージの上でマウスをクリックしスタンプを挿入します。また、リストからスタンプの設定を選択し、スタンプの追加、編集をおこなうことができます。</p>
<b>メモを表示</b>	<p>このオプションを有効にすると、イメージ上にアノテーションが表示されます。無効にすると、アノテーションが非表示になります。</p>

## PageViewer OCR ビュー

以下に、OCR 処理されたファイルを PageViewer で開いたときに表示されるメニューコマンドをご紹介します。

### PageViewer コマンドツールバー (OCR 処理後のドキュメント)

OCR処理ごのドキュメントに表示されるコマンドツールバーのアイコンは、ドキュメントファイルを開いたときに表示されるものと同じです。詳細は、[PageViewer コマンドツールバー \(ドキュメント\)](#) をご参照ください。

### OCR フォーマットメニュー

以下のメニューは、編集可能なドキュメント(\*.rtf, \*.rtfd, \*.txt, \*.doc or \*.xml など)を PageViewer で開いたときに表示されます。

<b>フォント</b>	フォントスタイルをリストから選択します。
<b>テキスト</b>	テキストの配置形式をリストから選択します。

## OCR ツールメニュー

<p>すべてのファイルを 1つのPDFにまとめ る</p> 	<p>複数のファイルを1つのPDFに結合します。</p>
---	------------------------------

## ページリストショートカットメニュー

ページリスト上で、OCR 処理後のページの上でマウスを右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

ページ ビュー	OCR 処理前のオリジナルの状態を表示します。
OCR ビュー	OCR 処理後の状態を表示します。
プレビュー	OCR ビューでファイルを開いている時に、このオプションを選択すると、OCR 処理前の状態が別の Window で表示されます。
テキストを開く	ファイルを開くプログラムを選択します。

## 付録 対応ファイル形式

フォーマット	表示		保存
	サムネイル ビュー	ページ ビュー	
Microsoft BMP	Y	Y	Y
TiFF	Y	Y	Y
JPG(JPEG)	Y	Y	Y
JPEG-2000	Y	Y	Y
PICT	Y	Y	Y
PNG	Y	Y	Y
EXR	Y	Y	Y
TIF, TiFF (Multi-page)	Y	Y	Y
GIF	Y	Y	Y
PSD	Y	Y	Y
SGI	Y	Y	Y
TGA	Y	Y	Y
PCT	Y	Y	Y

フォーマット	表示		保存
ドキュメント	サムネイル ビュー	ページ ビュー	
PDF	Y	Y	Y
RTF	Y	Y	Y
RTFD	Y	Y	Y
Normal text (txt)	Y	Y	Y
HTML (html, htm)	Y	Y	Y
XML	Y	Y	Y
Microsoft Word (doc)	Y	Y	Y
Excel (xls)	Y	N	N
PowerPoint (ppt, pps)	Y	N	N
Otherdocuments (rar, sit, site)	Y	N	N

フォーマット	表示		保存
<b>ビデオ</b>	サムネイル ビュー	ページ ビュー	
AVI	Y	N	N
MPG	Y	N	N
MPEG-1, MPEG-4	Y	N	N
MOV	Y	N	N
<b>オーディオ</b>	サムネイル ビュー	ページ ビュー	
WAV	Y	N	N
MP3	Y	N	N
MIDI	Y	N	N
AVI	Y	N	N
MPG(MPEG)	Y	N	N

スキャンモード	ファイルタイプ
カラー	TIFF, JPEG, PICT, BMP, PDF, PNG
グレース	TIFF, JPEG, PICT, BMP, PDF, PNG
モノクロ (B&W)	TIFF, JPEG, PICT, BMP, PDF, PNG